

2022年(令和4年)
4/15号
第1978号

発行日/毎月2回(1日、15日)



まちだ

新型コロナウイルス
感染症特設ページ



発行 ● 町田市 編集 ● 政策経営部広報課

〒194-8520 東京都町田市森野2-2-22

市役所の代表電話 ● 042・722・3111

市役所の窓口受付時間 ● 午前8時30分～午後5時

ホームページ ● <http://www.city.machida.tokyo.jp/>

(記載がない場合の市外局番は(042)です)



今号の紙面から ● 3面 予算特集 ● 4面 2021年度 部長の仕事目標 年度末の評価結果



町田デジタルミュージアム 全面公開

町田市生涯学習総務課 ☎724・2554

町田の歴史に詳しい「まっくう」さんに、この写真の謎を伺いました。

.....

縄文時代の人々が作り出した、芸術的な「あれ」です

—— 迫力のある写真ですね。これは何ですか？

約5000年前につくられた土器です。金森遺跡(金森東)で発見されました。高さが74センチある市内最大の縄文土器なんですよ。

この土器の全体像は「町田デジタルミュージアム」で見ても見ることが出来ますよ。



—— 大きいですね。そもそも、縄文土器は何に使われていたのでしょうか？

主に煮炊きなどの調理に使われていたと考えられています。

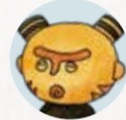
「ご存じでしたか？」

「町田は遺跡の宝庫！」

—— 町田にはとても貴重な資料が残っているんですね！

他にもまだまだたくさんありますよ。東京都にある遺跡のうち、約6分の1が町田市に集中しているんです。特に縄文時代の遺跡はとて多く、全国的に珍しい資料も発見されています。

町田に残された謎の遺物



縄文人は町田が好き？

—— なぜ町田市には縄文時代の遺跡が多いのでしょうか？

狩猟採集の生活をしてきた縄文人にとって、丘陵地である町田は動植物や水が豊富で暮らしやすかったのです。町田には旧石器時代からずっと人々が住んでいたんですよ。

—— 金森遺跡以外には、どんな遺跡がありますか？

なすな原遺跡(南成瀬)や忠生遺跡(木曾西他)、田端遺跡(小山町)などのとても大きな村がいくつもあり、栄えた時期もバラバラでした。縄文時代のうち、すべての時期の遺跡が残っているのも大きな特徴です。



復元された縄文時代前期の住居(本町田遺跡)

—— 現在、実際に見に行ける遺跡はありますか？

ありますよ。高ヶ坂石器時代遺跡(高ヶ坂)では住居跡、田端環状積石遺構(小山町)ではストーンサークルを、本町田遺跡(本町田)では縄文時代と弥生時代の復元された住居を見ることが出来ます。

旧石器時代から現代までの人々の暮らしがまるごと分かる

—— 「町田デジタルミュージアム」では、インターネットで町田の歴史が分かりやすく紹介されているんですよ。

さっそく見てみましたが、土器や遺跡の解説が詳しく載っていたり、時代ごとの年表や民具の解説がたくさんあってとても分かりやすかったです。子どもから大人まで楽しめるサイトになっているので、ぜひ皆さんにも気軽にアクセスして町田の歴史を知ってほしいです！

—— 町田が「縄文時代から選ばれる続けるまち」だったことがよく分かりました。まっくうさん、ありがとうございました。

実はとっても貴重!! まっくうさんの正体に迫る

● まちだ縄文キャラクターまっくう

田端東遺跡(小山町)で発見された町田市指定有形文化財「中空土偶頭部」をモデルに生まれた妖精。

名前の由来は「まちだで発見された中空土偶」。中空土偶とは、中が空洞に作られている土偶のことです。北海道旧南茅部町で発見され、

国宝に指定されている

「かっくう」は、まっくうさんとそっくりです。



2面では、さらにデジタルミュージアムの魅力に迫ります➡